

進路だより

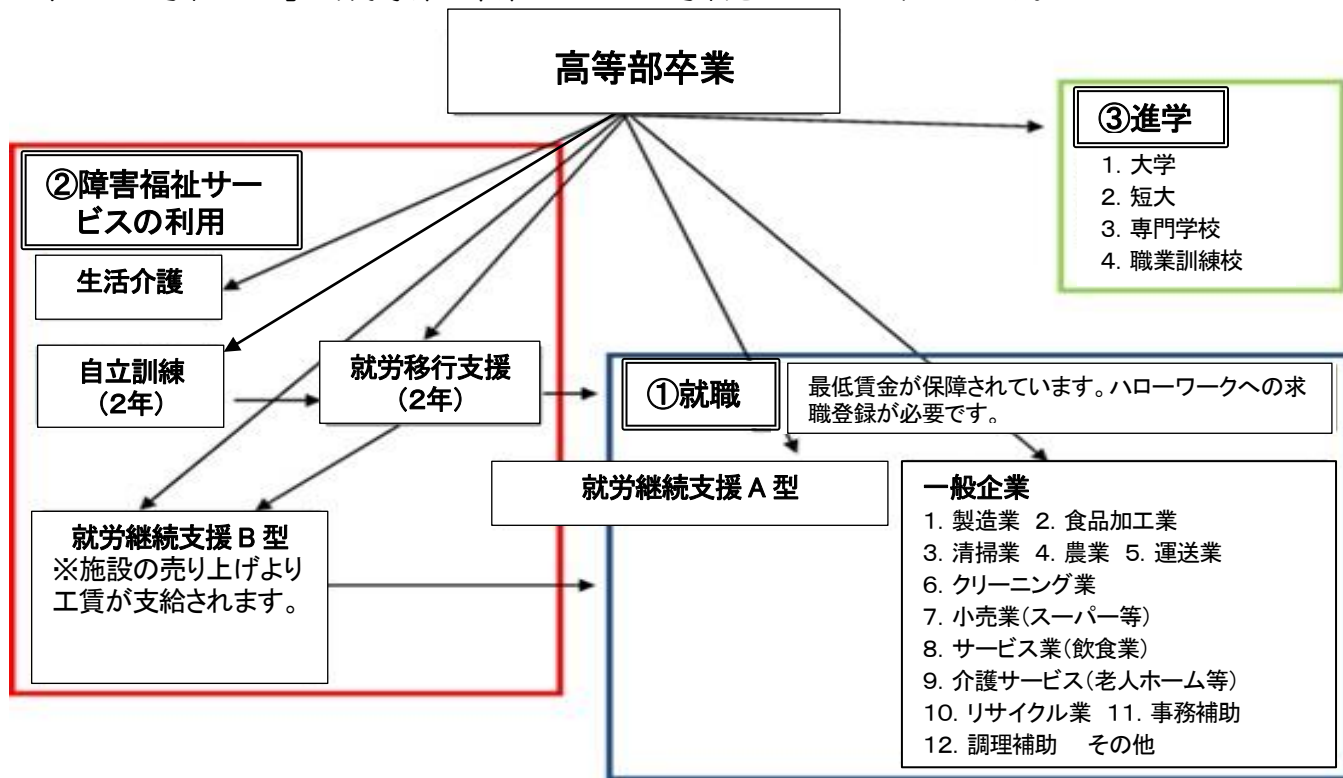
令和6年7月19日発行

桜が丘特別支援学校 進路指導部

No. 2



今回の「進路だより」は、高等部を卒業してからの進路先についてお伝えします。



高等部を卒業してからは、大きく分けると①就職、②障害福祉サービスの利用、③進学の3つの進路先があります。

下の表が令和6年3月に高等部を卒業した生徒の進路先一覧になります。就職をした生徒は、職場実習を経て、内定につながりました。障害福祉サービスの利用をしている生徒は、事業所の見学、職場実習を経て、自分に合った事業所を決定しました。進学をした生徒は、オープンキャンパスの参加、夏休み・放課後を使っての受験勉強と面接練習を経て、受験に臨み、合格を得ました。

令和5年度卒

高等部	就職 (2名)	障害者雇用 (20h以上 30h未滿)	かとりストア(精肉のパック詰め、値札の貼付)	大村市
障害福祉サービスの利用 (8名)	障害者雇用 (20h以上 30h未滿)		イオン大村店(インナーウェアの商品管理)	大村市
	自立訓練		ゆたかカレッジ長崎(2名)	大村市
	就労継続支援B型		Link	佐世保市
	//		SAKURA+	大村市
	//		エフォール	川棚町
	//		ドリームハウスあさがお	佐々町
	//		あすなる作業所	佐世保市
	//		NEUTRAL	佐世保市
進学 (3名)	大学		長崎国際大学人間社会学部国際観光学科	佐世保市
	障害者職業能力開発校		福岡障害者職業能力開発校プログラム設計科	北九州市
	職業訓練校		佐世保高等技術専門学校オフィスビジネス科	佐々町
その他(5名)				

進路についての情報は、お配りしています『進路のしおり 高等部版』に詳しく載せています。また、疑問点や不明な点がありましたら、遠慮なく学校にお尋ねください。進路のしおりにも載せていますが、希望する進路を実現するには、生徒自身の努力はもちろんですが、本人・保護者・学校が進路について共通理解を図り、一緒に取り組んでいくことが重要です。卒業した後の社会で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現していくために、学校や家庭で充実した日々を送ってほしいと思います。

(文責：高等部進路指導主事 國本 健)

【小・中学部用】

総合的な学習の時間「中学部 校内実習」

中学部では、6月28日（金）から11月15日（金）までの期間で、1週間に1コマの校内実習に取り組んでいます。例年2日間の室内作業を行っていましたが、今年度は期間を長くして畑での作業活動やプランターの栽培活動に取り組んでいます。

実習中は、1年生から3年生まで3、4人のグループで、草取りや石拾いの分担を決めてお互いに協力しながら地道な作業をしています。実質の作業時間は30分程ですが、熱中症に気を付けながら暑さにめげることなく頑張っています！作業に慣れている生徒、やり慣れていない生徒と個人差がある中で、慣れている生徒がお手本になったり上級生が優しく言葉を掛けて励ましたりと、自分の作業を意識しつつ周りのことも気に掛ける場面があり、頼もしく感じました。

〈畑作業（草取り、水やり等）〉



〈プランター作業（植ええ等）〉



暑い中でも、体調に気を付けながら、それぞれの作業活動に黙々と取り組む姿が目立っていました。自然、野菜に触れて元気に活動を行い、良いスタートが切れました。

まずは一人一人が自分で考えた目標に向かって、しっかり活動に向き合いながら周りとの協力して取り組んでいってほしいと思います。そして、実習でじっくり取り組めたことが日ごろの学校生活や将来に向けての達成感や自信につながっていくことを期待しています。2学期はさつまいもや野菜の収穫がありますので、今後の作業活動の励みにして最後までやり遂げてほしいと思います。

（文責：中学部 安永 雅）

前期職場実習頑張りました！

6月19日（水）～6月28日（金）までの8日間、高等部3年生10名、6月24日（月）～6月28日（金）までの5日間、高等部2年生11名、計21名が職場実習（前期）に行きました。

今回の職場実習では、社会生活に必要な態度を身に付けて能力を高めること、職種やそれに関する事柄を知って卒業後の進路を考えること、適性や作業能力、現場での適応能力を理解して、それぞれの進路選択や決定に役立てることを目的として実施しました。

事前学習として、出勤方法や作業内容等を確認したり、実習の目標及び確認事項を「職場実習のしおり」に記入したりしました。また、働くために必要な勤労観やマナー、態度についてみんなで意見を出しながら考え、自分たちにはまだ身に付いていない力も社会では必要とされることを知ることができました。

実際に職場実習を行って、自分の目標を達成するべく積極的に取り組むことができたり、思うようにいなくて苦勞をしたりと、それぞれの生徒が多くの経験をする事ができました。

実習後は、事後学習として「職場実習のしおり」で振り返り、感想文やお礼状を書くことで、自分の課題や適性について知ることができたと思います。今回の経験を、11月実施予定の後期職場実習につなげ、さらに成長できるように指導を行っていきます。

（文責：高等部 内海珠美）

職場実習（前期）の様子

陶器図案シール転写



つるの調整



注文とり



品出し



水分補給準備



品出し



芸術活動



陶器図案シール転写

